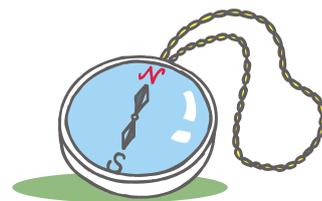


羅 針 盤

第 **35** 号

令和8年3月23日（月）



◆ 区切りはあっても終わりはない

令和7年度の修了式の日となりました。「光陰矢の如し」という言葉を身に染みて実感できるほど月日の経過が早く、1・2年生の皆さんにとっては「進級」に向けての節目となる春季休業期間、いわゆる春休みを明日から迎えることとなります。この一年間で、年度当初より予定されていた大きな学校行事もそれぞれに大きな成果を修め、無事に終了することができました。さて、この一年間を振り返りみて、学習活動や学級活動の成果といったものをあげることができたでしょうか。修了式を迎える今日、今一度しっかりと振り返る時間を持って、この一年間をどのように過ごすことができたか考えてもらえればと思います。努力した結果としての確かな手応えであったり、達成感のある充実した学校生活を過ごすことができてきたのか。真剣に自己と向き合い、今一度点検する時間を設けることはとても大事なことであるはずです。まずは、当たり前なのが当たり前に見える人として、日頃から「挨拶ができる人」として成長することができてきたでしょうか。あるいは、これまでも幾度となく繰り返しお話ししてきたこととして、「人の話をしっかりと聴くこと」や「学校のきまりやルールを守ること」などもできてきたでしょうか。不十分なことがあったとすれば、自分自身の努力不足であったことを反省し、これからどのように補っていけば良いのかを検討すべきであると思います。どのようなことでも、課題を解決し、達成できた時の喜びはかけがえのないものへとなくなっていくはずです。そして、また新たな課題を見つけていくことができるはずです。人としての成長を忘れない限り、区切りはあっても終わりはありません。夢や目標の実現に向けて、これからも弛まぬ努力を積み重ねていてもらいたいと思います。

◆ 春の訪れとともに！

先週末には春分の日（3月20日）を向かえました。暦のうえでは、春もすでに半ばを過ぎてしまったこととなります。3月も後残りわずかとなり、ようやく実感として、眩くも暖かな日差しを受けながら、春の訪れを感じる季節となってきました。1、2年生の皆さんは、それぞれが進級し、4月からはまた新たな出会いとともに、自分に与えられた役割を最後まで遂行できるよう、そして、より良いスタートがきれるようしっかりと準備をしておきましょう。自らの成長を実感しながら、充実した学校生活を過ごすためにも、日々の研鑽を怠ることなく、来年度も城陽中学校の一員としての責任ある行動と立派な姿に大いに期待しています。

本日、無事に修了式を終えることができました。明日より、15日間の春休みに入ります。ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、来年度も引き続き、校長室だより・羅針盤を定期的に発行する予定をしています。城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開していく道標となるよう、更なる研鑽を積んで参りますので、変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。（校長 坂井伸治）

